

純増 3,800 万円に到達!



あかるいまち 21

ホームページ & facebook もチェックしてね♪

組合員活動ニュース No.709

2012年12月28日(金)

広島中央保健生活協同組合

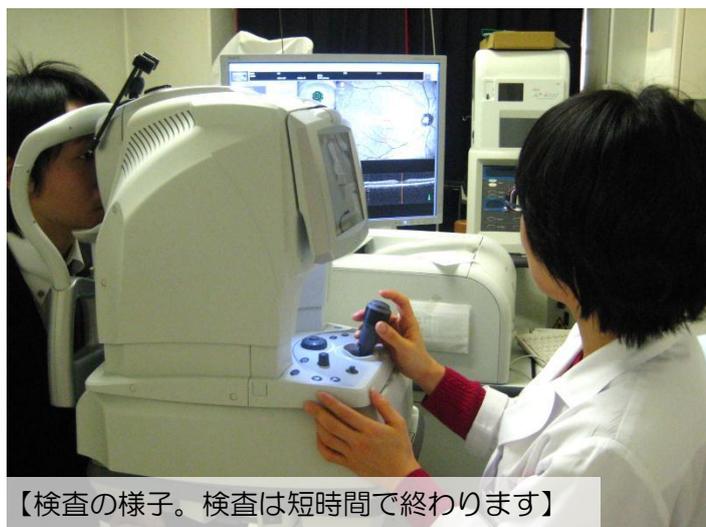
組織部 広島市西区観音町16-19

TEL082-532-1264

仲間ふやし 100 名達成！毎月3ヶタ加入は23カ月継続中

	年間目標	12/27 の成果	今月の到達 (12/1～12/27)	今年度の到達 (4/1～12/27)	総代会目標 達成率
仲間ふやし(人)	3,000	3	107	1,254	41.8%
出資金ふやし(千円)	220,000	181	7,942	83,418	37.9%

出資金ありがとうございます！医療機器を購入しました！



【検査の様子。検査は短時間で終わります】

福島生協病院眼科では、皆さまの出資金で
眼の奥の網膜形状をくわしく見る機器

(OCT: optical coherence tomography)
を導入しました。ありがとうございます！

この機器では、肉眼で判断できない小さな
変化を見ることができます。これにより網膜
の浮腫や異常な膜形成、異常な血管組織、網
膜の委縮などを見ることができます。主には
糖尿病や網膜血管閉塞などからくる黄斑部
(網膜の中心部)の浮腫や膜状組織の形成
(黄斑前膜)、加齢性黄斑変性を起こす、異
常な血管組織あるいは網膜とその前面にあ

る硝子体の関係などが見られます。また、最近では視神経周囲の網膜厚および黄斑部の神経線維の厚みを測定することによって、まだ視野変化の現れないごく初期の緑内障の診断も可能となりました。

この機器の登場により眼科疾患の診断は飛躍的に明確となりました。より正確な診断のもと、よりの確な治療に結び付けたいと思っています。 【福島生協病院眼科 松浦医師】

安心して住める「福島」を取り戻すための募金

福島県では、原発事故後、行政による食品の放射性物質汚染の調査や一部県民を対象とした内部被ばくの検査が進められています。しかし、毎日のくらしの中での食品への不安や、内部被ばくによる将来的な健康不安はなかなか解消できません。

そこで、福島県生活協同組合連合会に呼応し『安心して住める「福島」を取り戻すための募金』に取り組んでいます。皆様のご協力よろしく願いいたします。

主な内容

- 食品の放射性物質を測定する機器は、消費者・組合員が気軽に測定を依頼できるよう、福島県内の生協の施設12カ所に設置する予定です。
- 内部被ばくを検査する装置は、福島県内医療生協が拠点となって、2台の専用の移動車両に機器を搭載し、県内各地を巡回する計画です。 【広島中央保健生協 理事会社保委員会】

協同組合がよりよい社会を築きます



広島中央保健生活協同組合